

県民の心の豊かさ、満足度の向上のために これまで以上に力を入れて取り組みます

岩手県社会福祉協議会 会長 桑島 博

新年おめでとうございます。
皆様には、お健やかに新年を
迎えられたこと存じます。心よ
りお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災からまもなく3年になろうとしており、復興に向けた歩みが少しずつ進められてはいますが、今もって将来や生活への不安を抱えている方々も多く、被災された方々に寄り添いながら、共に復興に向けた歩みを進めていくことが、一層重要になって来ているものと考えております。
また、少子・高齢化の進行や世帯構造の変化などにより、高齢世

帯、単身世帯が増加し、さらには雇用環境等の厳しさとも相まって、孤立死、ひきこもりなどの社会的孤立や失業、病気などをきっかけとした生活困窮が社会問題となつていきます。

このような現状を踏まえ、国においては生活困窮や貧困の連鎖という大きな社会問題を解決するため、「生活困窮者自立支援法」を制定し、生活課題を抱えながら制度のはざまにいる一人ひとりに寄り添う、新たな生活支援の仕組みづくりが始まっています。

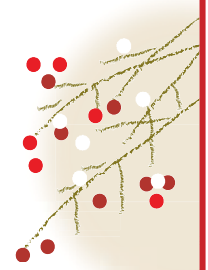
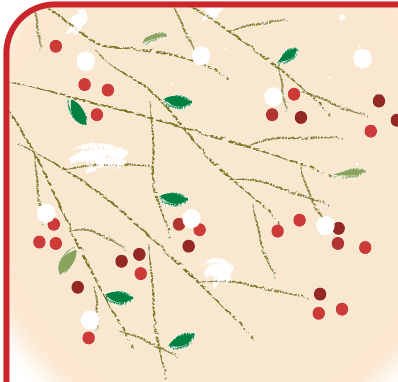
本県におきましても、私も社会福祉関係者が生活困窮・孤立といった、県民の多様な生活課題の解決に向けて、より積極的に関わっていくことが求められており、地域福祉推進の視点に基づき、「地域福祉を推進し、誰もが住み慣れた家庭や地域で、共に支えあい、自分らしく、安心して生活す

ることができ、豊かな福祉社会の実現」を目指し、各般の取組みを進めていくことが重要であると
考えております。

東日本大震災をはじめ、昨年は台風や大雨災害等により大きな被害を受けましたが、その中において、県内はもとより、全国各地から数多くのボランティアが被災地を訪れ、献身的な活動を展開していただきました。

こうした活動を契機に、地域での支え合いの機運は一層その高まりを見せており、我々、福祉関係者は、県民の「心の豊かさ・満足度の向上」に、これまで以上に力を入れて取組んでいかなければならないものと考えているところであり
ます。

新たな年、皆様とともに、常に前向き姿勢で力を入れて取組んで参りたいと存じます。よろしくお願いたします。



皆様のご支援ありがとうございます

- 東日本大震災での被災地支援のため、たくさんのご支援をいただいたいております。ここに掲載したものはその中の一部です。多くの企業・団体・個人の方からのご支援を直接被災地にいただいております。深く感謝申し上げます。(順不同・敬称略)
- 株式会社ブリッジ
代表取締役 長根 実
42,956円
- 45,906円
- 51,613円
- 江戸川大学総合福祉専門学校
駒木祭ふれあいフェスタ 東
北復興支援 学生有志
3,213円(障がい協へ)
- 神奈川県障害者地域作業所連
絡会
35,000円(障がい協へ)
- 障害者支援施設みずき
35,150円(障がい協へ)

ありがとうございます

「秋田県労働福祉協議会・日本労働組合総連合会岩手県連合会・社団法人岩手県労働者福祉協議会より」

1月15日に秋田県労働福祉協議会の高橋暢嘉事務局長、日本労働組合



総連合会岩手県連合会の八幡博文事務局長、社団法人岩手県労働者福祉協議会の砂金文昭会長、小野事務局長が当会を訪れ、500,000円を